

令和6年度 桶川市立桶川西小学校学校応援団の活動

1 桶川西小学校学校応援団のねらい

本校では、学校教育目標の「かしこく ゆたかに たくましく」及び、目指す学校像「子供、保護者、地域に信頼される学校」の具現化に向け、地域の方々にご協力いただいている。学校・家庭・地域が持続可能な連携・協働を図りながら、学校応援団の活動を通し、地域のよさを生かした学校・家庭・地域社会が一体となった取組を推進し、学校の教育環境の整備を進め、子供たちの学びや成長を支えることをねらいとしている。

2 活動の計画

- 4月 学校応援団の募集、活動計画作成
- 6月～3月 **【安全】**・登下校時の交通安全指導・見守り活動
・運動会や持久走大会等の校内外のパトロール
【学習】・読書タイムでの読み聞かせ・お話会・学校図書館の整備・
・クラブ活動の支援・各教科の授業への学習支援
【環境】・除草・側溝清掃・樹木の剪定・校舎内外の清掃
- 3月 活動のまとめ、学校応援団の募集

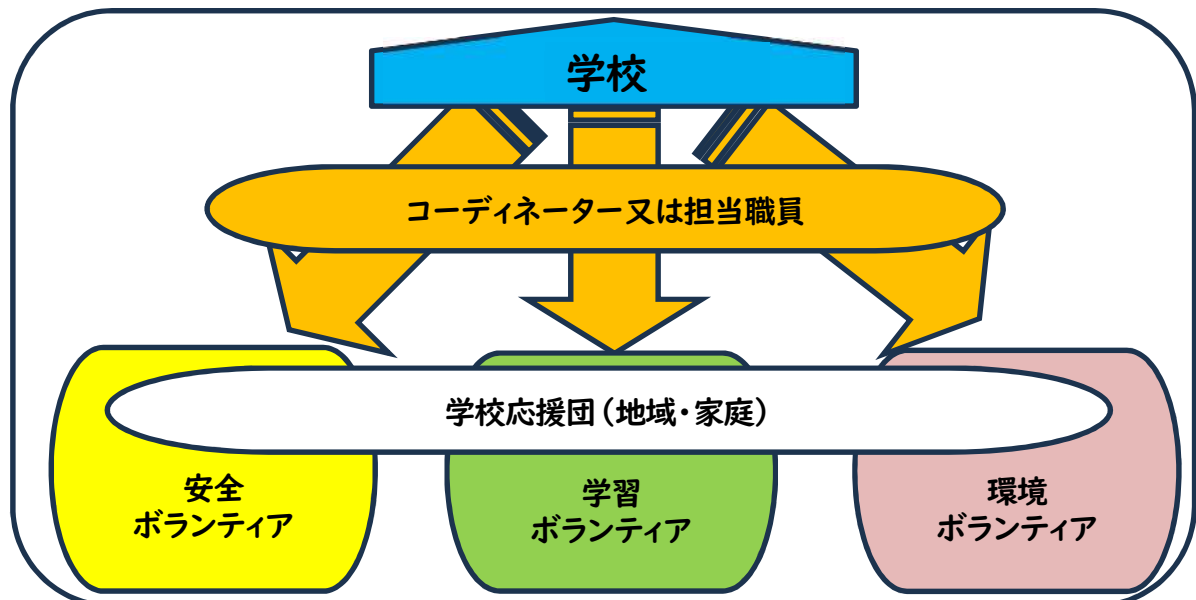
3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録3名）

安心・安全ボランティアはスクールガードリーダー、環境整備ボランティアは父親活動班の代表（PTAの担当）、学習は図書ボランティアの代表の3名をコーディネーターとして選出し、学校との連絡調整・活動内容の確認をして取り組んでいる。

(2) 学校応援団について（登録120名）

全体を教頭が統括し、それぞれ活動時にボランティア組織に学校職員が連絡調整として関わっている。



(3) 学校応援団の具体的な活動について

① 安心・安全グループ

(年間活動日数200日程度)

登下校の時間帯に児童の安全のために見守っていただいている。各地区の防犯推進委員を中心とした校区パトロールを日常及び随時実施していただいている。併せて登下校の安全を確保していただきながら、元気にあいさつをする習慣についてもお声がけいただいている。児童の毎日の安全の登下校ために、大きな役割を担っていただいている。



手押し信号横断の際の見守りの様子

② 学習グループ (年間活動日数約30日程度)

朝の読書タイムにおける本の読み聞かせ

図書主任、学校図書館教育補助員と学習ボランティアが事前打ち合わせを行い、水曜日の読書タイムに読み聞かせを行っていただいた。また、図書室内や廊下に季節に合わせた掲示物の作成や本の紹介ポップの作成、本の修理など環境整備を進めていただいた。

郷土芸能クラブでは主な活動である「餅つき踊り」の指導をしていただき、地域に伝わる伝統芸能の継承にもご尽力いただいた。



図書室の環境整備の様子

③ 環境整備グループ (年間活動日数4日程度)

職員や、児童の日常の清掃、環境整備ではできない箇所を、PTAの環境整備部を中心に、父親活動班を含め、環境整備（除草作業・樹木の剪定・落ち葉掃き）を行っていただいた。



環境整備の様子

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・安心・安全ボランティア・学習ボランティアの方々や地域の方々に見守っていただいたことで、登下校や校外学習時の安全を確保することができた。
- ・図書室の整備や掲示物等の作成で、親しみやすく、使いやすい図書室となっている。定期的な読み聞かせを児童はとても楽しみにしており、本に親しみを感じる児童が増えた。

(2) 課題

- ・学校応援団の各部の活動をさらに広報し、コーディネーターを中心として学校、家庭、PTA、地域、さらに学校応援団の横のつながりを含め一層の連携強化に努める。

(別紙様式)

令和6年度 桶川市立加納小学校学校応援団の活動

1 加納小学校学校応援団のねらい

歴史と伝統に支えられ、地域に愛される加納小学校を、さらに活力のある笑顔あふれる学校にするため、地域のよさを生かした学校・家庭・地域社会が一体となった取組を推進する。

2 活動の計画

本校では、学習ボランティア、環境ボランティア、安全ボランティアを組織している。コーディネーターを中心にそれぞれのボランティアが活動日と活動内容を学校の要望を受けて計画している。

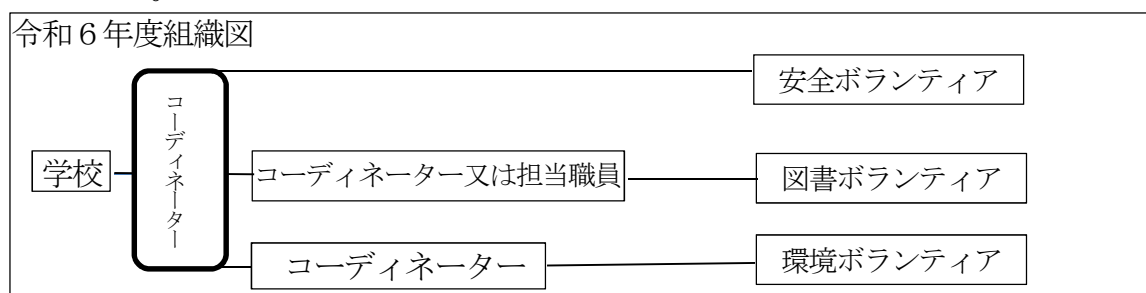
3 活動の実際

(1) コーディネーターについて

本校では、学校と各ボランティアとの連絡・調整役として3人のコーディネーターを置いている。コーディネーターは本校の元PTA役員、地域のスクールガードリーダーに依頼している。

(2) 学校応援団について（登録97名）

学校応援団に登録している人数は、今年度97名である。募集方法については、既存の地域の活動グループに依頼するとともに、学校応援団募集の案内を出したり、回覧板で地域に呼びかけたりして、団員を募っている。また、学校HPで活動を紹介し、随時募集をしている。



(3) 学校応援団の具体的な活動について

① 安全ボランティア

(年間活動のべ日数200日程度)

ア PTA校外補導部を中心とした定期的（月1回）な登下校指導（各地区ごと）

イ 各地区の防犯推進委員会を中心とした校区パトロールを日常及び随時実施



<校区パトロールの様子>

- ウ 持久走大会等の行事において校地内および校地周辺の見守り活動の実施
エ 地区ごとに PTA と防犯推進委員による防犯懇談会の実施（今年度新規の事業）

② 図書ボランティア

ア 朝の読書タイムにおける本の読み聞かせ

（今年度は4回実施）

図書館教育主任、学校図書館教育補助員と学習ボランティアが事前打ち合わせを行い、学年に応じた内容を確認し、意図的・計画的に実施している。

1 学期 5 月～7 月にかけて協力

2 学期 9 月～12 月にかけて協力

3 学期 1 月～3 月にかけて協力

イ 図書室の環境整備（年 8 回）

図書整理・修繕、掲示物の作成が主な仕事である。

活動日は、月 1 回の定例会のほか不定期で活動している。それぞれ都合のよい日、時間に合わせて活動している。

③ 環境ボランティア（年間活動日数 9 日）

学校環境整備

6 月～3 月の第 2 金曜日 9:30～11:00

- ・除草作業、花壇の整備、花の植栽、樹木の剪定、落ち葉掃き など



＜図書室の環境整備＞



＜花の植栽作業＞

4 取組の成果と今後の課題

（1）成果

- ・今年度は、ここ数年来の課題であった人員の増員について、応援団員からの声かけや、地域の方が来校される機会を捉えての声かけを積極的に行った。結果は微増であったが、興味を示していただいた方もおり、来年度も継続していきたい。
- ・学校側が環境ボランティアの方との懇談の機会を持つことで、地域の方々との交流が深まり、学校への理解・協力体制が強まった。
- ・環境ボランティア活動では、PTA の環境部の活動と連携し、協力して行うことで、それぞれの活動が充実したものになった。

（2）課題

- ・手紙を配るだけでは人が集まらない。機会を捉えて直接声をかけていく、HP で活動の様子をアピールする、感謝の集いで児童から感謝の気持ちを伝える、といったことで、団員の皆さんの居がい、やりがいを喚起していく必要がある。
- ・今後は学校運営協議会や民生委員、防犯推進委員の集いにおいて、学校応援団の各部の活動をさらに広報し、コーディネーターを中心として学校、家庭、PTA、地域、さらに学校応援団の横のつながりを含め一層の連携強化に努める。

令和6年度 桶川市立川田谷小学校学校応援団の活動

1 川田谷小学校学校応援団のねらい

本校では、児童の学習活動の充実や登下校の安心・安全の確保、校内の環境整備等をより一層充実させるため、地域住民・保護者からの協力や支援を得ることを目的として学校応援団を組織している。

2 活動の計画

月	全体	学習支援部	環境整備部	安心安全部
4月	第1回定例会 (学校運営協議会)	プールの日除け 制作		登下校の見守り
5月		プールの日除け 制作・取付	第1回環境整備	運動会見守り
6月				
7月	第2回定例会 (学校運営協議会)			
8月				
9月				
10月				
11月	第3回定例会 (学校運営協議会)		第2回環境整備	
12月				
1月	第4回定例会 (学校運営協議会)	和風作り学習 昔のくらし学習		
2月	学校応援団総会 第5回定例会 (学校運営協議会)	万作踊り学習		
3月				↓

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録 4名）

①全体統括コーディネーター…1名 ②各部コーディネーター…1名ずつ

学校応援団長は全体統括コーディネーターの役割を果たしている。学校応援団は①「学習支援部」、②「環境整備部」、③「安心安全部」の3つの組織で構成し、その各組織に1名ずつのコーディネーターを配置している。

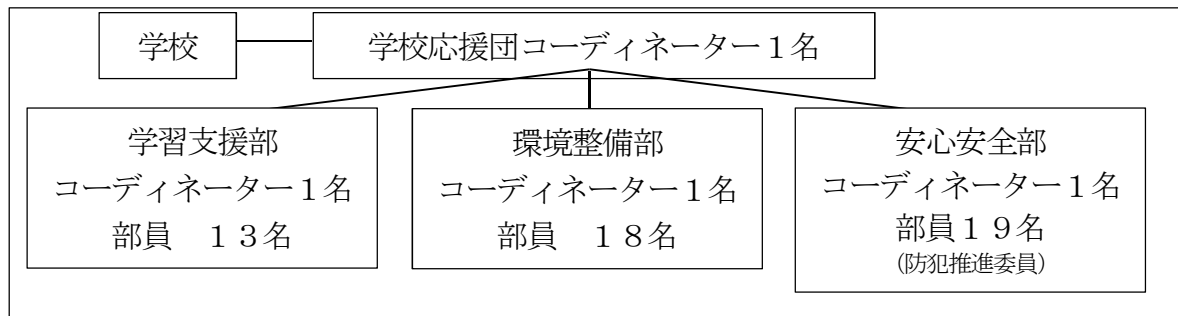
学校応援団長、各コーディネーターが学校運営協議会委員となり、学校運営協議会の会議の場を活用して、各コーディネーターが活動状況の報告や今後の活動計画（予定）の調整を行っている。

また、各コーディネーターはこの会議の内容を各団員に連絡し、活動当日の協力者

の招集を行っている。

(2) 学校応援団について (登録実人数 50名)

学校応援団の募集は学校だよりの募集記事掲載(年1回)及び学校応援団メンバーによる推薦によって行われている。応募者の大多数が「推薦」による参加である。



(3) 学校応援団の具体的な活動について (年間活動日数 200日)

① 学習支援部 (年間活動日数 15日、授業中の補助 3日)

- ア 社会科・総合的な学習の時間「昔のくらし」(3年生対象)
「昔のくらし」について、昔の学校の様子や遊び道具、食べ物等についてインタビューや体験をしている。
- イ 総合的な学習の時間「万作おどり」(3年生対象)
三田原地区に伝わる伝統芸能「万作おどり」を伝承する方が講師として来校し、3年生が体験学習を行っている。
- ウ 生活科の時間「和風作り」(1年生対象)
地域の方を和風作りの講師として招聘し、竹ひごと和紙で和風作りを行った。学校応援団の方々が学校応援団室で真竹から竹ひごを制作。その竹ひごを骨組として使用。
- エ プールの日除け作成と取付
竹を材料として、プールの日除けを作成した。4月から10回ほど集まり制作。5月下旬に取り付けた。



② 環境整備部 (年間活動日数 2日)

- ア 除草作業(5月～11月:2回)
校地内及び周辺の草が繁茂する前に、職員や児童では行えない場所を中心に、除草や樹木の剪定等を行っている。



③ 安心安全部 (年間活動日数 200日)

- ア 登下校の見守り(通年:授業日200回)
- イ 運動会見守り



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・記録的な猛暑の中、熱中症予防のため朝早い涼しい時間、定期的に学校応援団の除草作業を行い良好な学校環境の維持・整備を図った。
- ・学校応援団の方々の協力により和風作りや昔のくらし、万作踊りといった貴重な体験学習を行い、児童の学習を深めることができた。
- ・学校応援団との連携を強化することで、登下校の見守りの際に気付いた危険箇所等の情報が迅速に学校に提供され、児童の安全確保が図られた。

(2) 課題

- ・児童数が年々減少しつつある中で、児童の体験学習、環境整備や安全確保の活動を模索し、地域の教育力を積極的に活用することで、児童の健全育成を推進していきたい。
- ・学校応援団を構成する方々の高齢化に伴い、当応援団の次代を担う方々を探し出すことが課題である。

(別紙様式)

令和6年度 桶川市立桶川東小学校学校応援団の活動

1 桶川東小学校学校応援団のねらい

本校では学校教育目標「未来へはばたけ けやきっ子 ～あかるく かしこく たくましく～」の具現化を図るため、日々の教育活動の充実に取り組んでいる。学校応援団の活動をとおり、家庭や地域の教育力を積極的に活用し、学校・地域の活性化を図るとともに、家庭や地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域の三者が一体となり、けやきっ子の健全育成に取り組むことがねらいである。



本校キャラクター
けやきん

2 活動の計画

4・5月 学校応援団の募集

6月 応援団ごとの顔合わせ、活動計画の立案、活動開始

12月 情報交換会及び学校応援団連絡会の開催

3月 学校応援団活動のまとめ

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて (登録2名)

地域住民であるスクールガードリーダー、PTA会長、学校支援グループの代表者2名を校長が推薦し、学校応援団コーディネーターとして活動している。各コーディネーターは、それぞれの活動に造詣の深い方々であり、学校や家庭、地域との連絡調整にあたっている。

(2) 学校応援団について (登録80名)

平成20年6月に、安全・学習・図書館・環境の4つの応援団の設置以来、学校応援団としての組織の拡充と活性化を図っている。現在の登録人数は、80名である。

例年は、年度当初、学校応援団募集の通知を保護者に配付し、区長に依頼し、回覧板を活用したりして団員を募集している。また、学校行事や授業の学習内容に合わせて随時募集を行い、活動している。

(3) 学校応援団の具体的な活動について (年間活動日数200日)

① 安心・安全グループ (年間活動日数180日)

児童の登下校時を中心にした見守り活動を学区内の「防犯推進委員」の方々や自治会内で独自に組織している地域防犯の方々に協力していただき見守り活動を実施している。横断歩道の渡り方指導、あいさつ運動等、児童に元気と安心を与えてくれている。スクールガードリーダー、区長と連携をとり、緊急時にも対応できるよ

うにしている。

② 学習グループ（年間活動日数 10 日、授業中の補助 10 日）

5 年生の家庭科のミシン学習におけるミシンボランティア、2 年生の生活科における町探検の引率補助ボランティアを行った。

③ 図書ボランティア（年間活動日数 10 日）

各クラスでの「読み聞かせ」や「パネルシアター」、本の修理や掲示物作り、プレゼント用のしおり作り、学年図書や学校図書館の環境整備等を行っている。2 学期には 1 年生を対象に「アニメーション」など読書への関心を高める活動をした。

4 取組の成果と今後の課題

（1）成果

- ・ 学習活動の支援により、児童の学習に対する興味・関心、学習意欲が高まった。
- ・ 学校の教育活動への支援を通じ、保護者や地域の方の学校に対する理解が深まった。



（2）課題

- ・ 必要なボランティアについて、整理・拡充していくこと。
- ・ ボランティアの募集を地域や保護者など広範囲にわたって計画的に知らせていき多くの方とのつながりを作っていくこと。

令和6年度 桶川市立日出谷小学校 学校応援団の活動

1 日出谷小学校学校応援団のねらい

日出谷小学校学校応援団は、現在「安心・安全ボランティア」、「学校環境ボランティア」、「図書ボランティア」、「学習支援ボランティア」の4つの組織にて活動を行っている。本校学校応援団では、『明日をつくる日出谷の子』を学校、家庭、地域が一体となって、毎日の生活の中で、優しく見守り育んでいくこと』をねらいとしている。

今年度は、ほとんどのボランティアがコロナ以前の活動に戻り、各応援団組織が、精力的に活動していた。また、地区懇談会や学校ホームページ等をとおして情報交換・情報発信をし、各ボランティアが相互の活動を理解し合い、支援し合える関係を構築することができている。学校運営協議会にコーディネーターが委員として参加していることから、そこでも今後の課題等について話し合う機会を持っている。

2 活動の計画

- 4月 各地区区長の協力により、各地域の回覧板にて学校応援団員を募集
- 5月 学校応援団ごとに顔合せを行い、活動計画を立案
- 5月～ 各組織が計画に基づき実践
- 2月 ありがとう集会（各組織に児童会役員が感謝の手紙を贈呈）

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録3名）

学区内に居住している、元区長、保護者等にコーディネーターを依頼している。3人とも安心・安全及び学校環境ボランティア、図書ボランティアとして、学校環境の整備と児童の安心・安全の確保に尽力いただいている。

(2) 学校応援団について（登録80名）

本校には、学校応援団として地域の方を中心とした3つの組織（安心・安全ボランティア、図書ボランティア、学校環境ボランティア）と保護者による1つの組織がある。保護者による組織（学習支援ボランティア）は、常時メンバーは決まっておらず、校外学習の引率補助や生活科の活動補助などで協力いただいている。学校応援団の募集については、年度当初に各地区の回覧板にて図書、安心・安全、学校環境ボランティア募集案内をしている。学習支援ボランティアは、必要な時期に学年ごとに保護者に依頼をしている。

(3) 学校応援団の具体的な活動について（年間活動日数99日）

① 安心・安全ボランティア（年間活動日数37日）

毎週月曜日に、校区内の防犯推進委員を中心としたボランティアが各分担場所で児童の下校を見守っている。また、月1回（原則最終月曜日）、本校に集合し情報交換を行っている。

そのほか、保護者による任意の活動として、交差点等の危険箇所における朝の安全指導や児童の下校時に合わせた自宅周辺での見守り等の活動を実施している。

② 図書ボランティア (年間活動日数28日)

毎週月曜日の午前8時15分から15分間、本の読み聞かせを行っている。さらにそのあとの時間を利用して図書の修繕や蔵書整理等の活動も行っている。

また、11月にはパネルシアターを実施し、低学年児童を中心に好評を得ている。



③ 学校環境ボランティア (年間活動日数27日)

毎週木曜日の午前中、校地内の草刈りや樹木の剪定などを行っていただいている。また職員室前にネットを設置し、ゴーヤの苗を植えて毎年グリーンカーテン作りを行っている。さらに、学校園における野菜の栽培について、2年生の児童に指導をしていただき、ジャガイモや大根などたくさんの野菜を収穫することができた。



④ 学習支援ボランティア (授業中の補助7日)

生活科や社会科等での学校周辺の校外学習の引率・見守り、家庭科や生活科等での学習支援を主に保護者をお願いしている。今年度は、1～3年生の学区探検や1年生の朝顔の蔓を活用したリースづくり、5・6年生のミシンボランティアなどを保護者をお願いした。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・学校、家庭、地域が一体となって、様々な場面で子供たちを優しく見守り、また、環境を整えることで、子供たちの健全な成長に貢献することができた。
- ・活動の様子をホームページ等で発信したり、感謝の気持ちを表したりすることで、ボランティアの居がい、やりがいを高めるとともに保護者や地域が関心を寄せるようになった。
- ・ボランティアが意欲的に活動し、児童の学校内外の安全確保、読書や学習意欲の向上が十分に図られ、児童の豊かな心の育成に大いに役立った。

(2) 課題

- ・活動内容の発信や地域からの公募だけでは、新たな人材の確保が難しい。また、ボランティアの高齢化も進み、次の世代に引き継いでいける体制づくりが必要がある。
- ・児童が安心・安全に楽しく学校生活を送るための環境づくりを中心に、今後も活用を推進していきたい。また、結果として、職員の負担軽減につながるような活用にするとともに、ボランティアに居がい・やりがいを感じていただけるような関係づくりに努めていきたい。

桶川市立朝日小学校学校応援団の活動

1 朝日小学校応援団のねらい

学校が、積極的に家庭や地域社会の教育力を活用することで、学校の活性化を図る。また、家庭や地域社会の教育力の向上をめざし、学校・家庭・地域社会が一体となって、児童の育成に取り組む。

2 活動の計画

学習支援部	年 間	図書ボランティア 読み聞かせ「お話会」、ポスター作り、本の修理、 本の整理、蔵書点検
	1 学期	5 年調理実習「ゆで野菜」、6 年調理実習「炒め野菜」
	2 学期	3 年総合的な学習の時間「豆腐づくり」支援 6 年家庭科ミシンの学習、調理実習への支援
	3 学期	5 年家庭科ミシンの学習への支援
安心安全部	年 間	登下校安全指導、安全パトロール(登下校安全指導)
環境整備部	年 間	体育館前掲示板(昇降口)作成(年間7回実施)
	年 間	美化活動(除草作業・枝の剪定・落ち葉掃き)
	8 月	親子クリーン活動
おやじの会	5 月	敷地内環境整備(駐輪場付近の枝の剪定) 運動会前日児童席テントの準備 運動会当日の学校周辺見回り、テント片づけ、駐輪場整備 プール清掃
	9 月	藤棚、キウイ棚剪定
	1 1 月	長距離走大会見守り キャリア教育ゲストティーチャー
	1 2 月	防砂ネット交換
	2 月	環境整備(校内エアコン清掃)



3 活動の実際

(1) コーディネーターについて(登録3名)

学習支援ボランティア部(図書ボラ代表)で1名、安心安全ボランティア部(若宮2丁目区長)で1名、環境整備ボランティア部(PTA会長)で1名、以上3名の方にコーディネーターとして、ボランティアの方との連絡調整等をお願いしている。コーディネーター会議は、1月の学校運営協議会の中で開催をし、今年度の活動報告、成果及び課題についての情報交換、協議をした。

(2) 学校応援団について(登録約160名)

学校応援団のボランティア登録人数は、約160人である。年度当初に学校応援団の図書ボランティア、環境整備ボランティアについては文書(年間の活動日時が入ったもの)を配付し、希望者を募っている。業前の児童による美化活動に合わせ、環境整備ボランティアの活動も実施しているが、応募窓口が複数になっていたことから、令和5年度から教頭へ窓口を一本化した。

各学年の学習ボランティアについては、学年の学習状況に応じて学校から募集の文書を配付し、希望者を募っている。

(3) 学校応援団の具体的活動について(年間活動日数…約200日)

①学習支援ボランティア部(年間活動日数20日、読み聞かせのみ実施)

図書ボランティアは、月曜日に読み聞かせ(お話し会)、本のポスター作りを行い、読み聞かせの本の紹介をしている。図書の整理や本の修理、9月には、1週間ほどかけて図書室の蔵書点検を行っている。学習ボランティアは、3年生の総合的な学習の時間の補助、5・6年生の家庭科のミシン補助等を行っている。また、家庭科のミシンや調理実習、総合的な学習の時間等、必要に応じて保護者ボランティアを募り、児童の活動の補助を行っている。



②安心安全ボランティア部(年間活動日数…約200日)

児童の登下校の安全確保、学校行事の安全確保、通学路点検、緊急時の校地内外の見回をしている。

③環境整備ボランティア部(年間活動日数3日)

環境ボランティアは、今年度3回環境整備を行った。活動日以外の日に、除草や剪定を行ってくれる方もいる。



掲示ボランティアは、体育館前掲示板の作品掲示をしている。新しい作品が掲示されると子供たちが立ち止まり見ている。今年度については、体育館エアコン設置工事に伴い掲示場所を昇降口に移動(9月～1月)

④おやじの会(年間活動日数8日)

学期に2回程度、おやじの会を行っている。今年度も、運動会前の駐輪場の整備、運動会前日のテント張り作業、後片付けを行った。おやじの会による活動は教職員の業務負担軽減に大きく寄与した。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・学校応援団の各団体は、それぞれが創意工夫し、子供たちのために熱心に活動をしていた。
- ・掲示ボランティアは、毎回工夫を凝らした掲示物で児童たちの心を掴んでおり、毎月楽しみにしている。学校ホームページでも紹介をしている。
- ・おやじの会による活動は、職員の負担軽減に大きく寄与した。

(2) 課題

- ・児童数減少、保護者のライフスタイルの変化等により、新しくボランティアに参加してくださる方が集まりにくくなっており、地域のボランティアも高齢化してきている。

令和6年度 桶川市立桶川小学校学校応援団の活動

1 桶川小学校学校応援団のねらい

家庭や地域の教育力を積極的に活用し、学校の活性化を図る。また、家庭や地域教育力の向上をめざし、学校・家庭・地域が一体となって児童の教育に取り組む。

2 活動の計画

【通年】学校応援団の募集

○安心安全部

安心安全委員会（年5回）

登下校見守り（通年）

防犯パトロール

○学習支援部

図書ボランティア（毎週金曜日）

学習ボランティア（单元ごと）

・ミシンボランティア

・町探検

○環境整備部

美化活動（年4回）

○おやじの会

5月 運動会テント張りとはりつけ

6月 樹木伐採・体育小屋掃除

防風ネット張り

1月 ペンキ塗り



図書ボランティア
校門脇大型掲示



おやじの会 ペンキ塗り

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録3名）

安心安全部、環境整備部、おやじの会の部門の代表者が、それぞれコーディネーター的役割を果たしている。代表者は、校区区長代表、現PTA関係者、元PTA関係者である。3つの部門を統括するコーディネーターを配置することが課題となっている。

(2) 学校応援団について（登録80名）

安心安全部は、15地区の防犯推進委員と区長が地域の防犯ボランティアをまとめ、組織的に登下校の見守りを行っている。

学習支援部は、図書ボランティアと学習支援に分かれている。図書ボランティアはコーディネーター的役割の方を中心に登録者の把握や活動が組織されている。授業支援では、授業の内容や時期に合わせてボランティアの募集をし、授業の補助をしている。

環境美化部では、年度当初にお知らせを保護者、地域に配付して応援団を募り、除草や窓清掃などの校内の美化活動をしている。

おやじの会は、その都度検討し、テント張り、樹木伐採、ペンキ塗り、環境整備などを進めている。

(3) 学校応援団の具体的な活動について（年間活動日数202日）

① 安心安全部（年間活動日数202日）

桶川小学校区安心安全委員会を5回開催し、桶川市役所安心安全職員にも参加いただき、学校と地域との情報や意見の交換を行っている。地域と学校の安全のために約60名の方が、毎日の児童の登下校時の安全確保、防犯パトロールをしている。

② 学習支援部（年間活動日数35日、授業中の補助10日）

ア 図書ボランティア（毎週金曜日）

図書の整理、読み聞かせ、校門脇大型掲示作成、大型絵本作成、しおり作成、図書室環境整備、本の修理など多くの活動を行っている。

イ 学習ボランティア（授業内容により実施）

授業内容からボランティアを募集し、トートバックの作成時のミシン補助や町探検の見守り、安全確認などの様々な学習場面での支援活動を行っている。

③ 環境整備部（年間活動日数4日）

学期に約1回、20名前後の方に作業していただいている。夏は除草、秋は落ち葉掃き、また窓清掃などの学校内外の環境整備を行っている。PTAの美化活動にも位置付けている。

④ おやじの会

6月に樹木の剪定・1月に遊具等のペンキ塗りを実施した。その都度、学校と作業内容を検討し、普段の課業日ではできない活動を進めている。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・校区に桶川駅があり、また幹線道路が通っているため非常に交通量が多いが、交通事故、不審者による被害もなく、児童が安心安全に登下校することができた。
- ・学習活動の支援により、学習内容が深まったり、安全に学習を進めたりすることができた。また、児童が地域の方々との交流や本校の教育活動を理解していただく貴重な機会にもなった。
- ・学校を外から見たときの環境も意識して除草作業や樹木の伐採をすることで、学校の環境が整うとともに、地域の方々とよりよく連携し、活動を進めることができた。

(2) 課題

- ・学校応援団の活動の周知を充実させることで、家庭、地域に学校応援団の活動に興味をもってもらおう。
- ・学校応援団の新規登録者の増加を図る。
- ・コーディネーターを統括するコーディネーターを配置、各部門の活動の強化や連携を図り、充実させる。
- ・案内や申込等、デジタル化を図る。

(別紙様式)

令和6年度 桶川市立桶川中学校学校応援団の活動

1 桶川中学校学校応援団のねらい

学校内外の環境美化、学習環境の充実のために桶川中学校区内の地域全体で支援する体制づくりを推進する。また、この活動を通して、家庭・地域の結びつきを強化し地域の教育力の活性化を図っていく。

2 活動の計画

学校の担当者（教頭）と学校応援団コーディネーターが協議し作成する。

月	計 画
4 月	担当者とコーディネーターの打ち合わせ
5 月	第1回活動（除草・剪定作業）
6 月	第2回活動（除草・剪定作業）
8 月	
9 月	第3回活動（除草・剪定作業）
10 月	第4回活動（PTA園芸活動協力・他）
11 月	第5回活動（落ち葉掃き・他）
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	第6回活動（PTA園芸活動協力・他）、次年度団員募集

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録1名）

学校応援団の登録者と学校との調整役として、「学校応援団コーディネーター」を学校が依頼する。（任期は1年とする。ただし、再任を妨げない）

- 学校から依頼を受け、学校応援団員に支援を依頼する。
- 学校の担当者と協議し活動計画を作成する。
- 地域の情報を学校に提供する。
- 学校の情報を地域に周知する。
- 学校応援団の会議を開催する。

(2) 学校応援団について（登録47名 ※父親活動班含む）

- ① 令和6年登録者数について
34名（地元住民 元PTA執行部員） 13名（父親活動班）
- ② 募集方法
・現団員及びPTA執行部役員、父親活動班員が随時勧誘する。
- ③ 組織運営について
・「桶川中学校学校応援団実施要綱」に基づき運営を行う。

(3) 学校応援団の具体的な活動について（年間活動日数6日）

① 環境整備、PTA活動への協力

今年度は定期的に除草、樹木の剪定作業、校内環境整備を行った。また、部活動単位で生徒も多数参加するなど交流しながらの活動となった。

② 具体的な活動の様子

＜ PTA園芸活動協力 ＞



＜ 環境整備作業 ＞



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・環境整備等を保護者・学校応援団が共に行うことで、互いの交流が図れた。
- ・本校職員と地域の方がともに活動することを通して、信頼関係が深まった。
- ・子供が学校を卒業した後も、学校の活動に関わる機会を設けることで、学校・家庭・地域の一体感を醸成することができた。

(2) 課題

- ・人員の確保、有効な予算活用に努め、学校応援団の活動を充実させていく。
- ・学校応援団の活動に対する教職員の意識の高揚と行動連携を図る。

桶川市立桶川東中学校学校応援団の活動

1 桶川東中学校学校応援団のねらい

家庭を含む地域全体で桶川東中学校の教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の生徒と向き合う時間の増加、住人等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図ることをねらいとして、学校応援団を設立した。

2 活動の計画

本校では、学校応援団として学習、安心・安全、環境整備の3部門に分かれて、活動をお願いしている。現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境整備を主として計画している。

校内環境整備活動については、生徒の活動と学校応援団の活動を合わせて行っている。また、活動を通して、学校応援団と教職員や生徒とのつながりを持つこと、生徒には学校を大切にすることを考えている。

5月 除草

9月 剪定と除草

11月 剪定と除草、池の整備

3月 除草と花植え

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて（登録1名）

校長、教頭、教務主任、桶川東中学校PTA執行部、顧問による話し合いを行い、昨年度に引き続き、PTA執行部学校応援団担当をコーディネーターとして、活動を行っている。コーディネーターは、学校の応援団担当（教頭）と話し合い、活動の企画・運営・調整を行っている。

(2) 学校応援団について（登録37名）

① 学校応援団の構成について

桶川東中学校では学校応援団を、東中学校の教育活動を支援する保護者、地域の方による学校支援ボランティアの活動組織と定義づけ、以下の手順で学校応援団を組織した。

本校は、既存組織を活用していくという方針で、PTA組織を応援団の構成要因のひとつとし、PTA執行部の協力を得て活動を行っている。

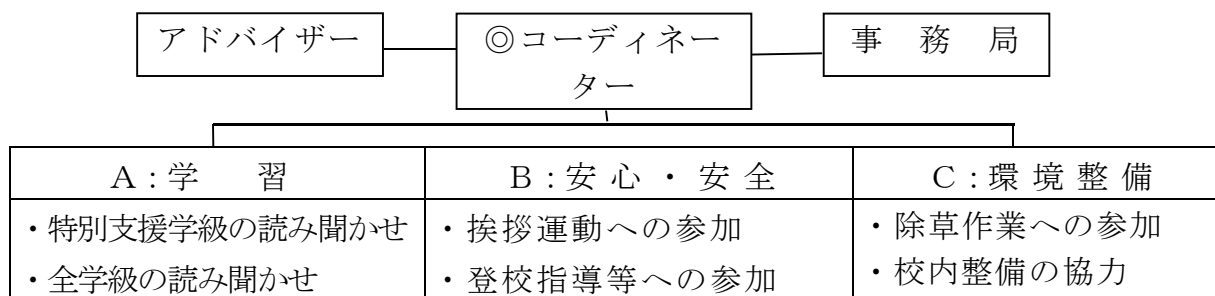
ア 活動内容ごとに募集を行い、応援団を構成した。

イ 学校応援団は、保護者及び地域の方等で、学校応援団名簿に登録されることをもって構成した。

ウ 学校と応援団の調整役として学校応援団長を選任した。

エ 各活動組織でコーディネーターを選任し、それぞれの活動の中心として活動していただいた。

② 学校応援団組織図



(3) 学校応援団の具体的な活動について

- ※ 環境整備（年間活動日数4日）
 - ・ 校地内外の除草作業や枝の剪定作業、また学校に沿った街路の環境整備にご協力いただいた。
- ※ 学習
 - ・ 本校では年間活動日数3日で読み聞かせを計画していた。しかし、本年度も感染症予防の観点から、読み聞かせ担当との打ち合わせ段階である。
- ※ 安心・安全
 - ・ P T A活動と共に、1学期と2学期の2日間にわたり、朝の挨拶運動を実施した。

【活動の様子】（環境整備）



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 保護者や地域の方の学校教育に関心を持っていただく良い機会となりまた、学校を知っていただく機会ともなって、生徒が感謝の気持ちを持つことができるようになった。また、学校運営協議会でも学校応援団について熟議し、今後も活動を広げていくような計画を立てることができた。

(2) 課題

- ・ 地域の方には、学校の教育活動を応援していただけることで学校への信頼も高まっている。今後も、活動を充実させて、地域と共に学校力を上げられるよう、応援団の組織を発展させたい。

令和6年度 桶川市立桶川西中学校学校応援団の活動

1 桶川市立桶川西中学校学校応援団のねらい

本校の学校応援団の名称は「桶川西中サポーターズ（OWSUP!）」といい、平成7年度から活動してきた「おやじの会」の後継としてつくられた。性別や在校生・卒業生の保護者を問わず、保護者や地域の有志によって組織されている。学校応援団は学校内外の環境整備や学校行事・安全指導への協力を通して、地域と共にある学校の教育力の向上を目指している。また、教職員も共に活動する中で本校の教育活動を理解していただき、信頼関係を構築し、生徒の教育環境を整え、改善することを目的としている。

2 活動の計画

- 4月 役員自己紹介、年間活動計画立案
- 5月 環境整備（剪定・除草）
- 7月 環境整備（剪定・除草・防草シート張り）
- 9月 環境整備（剪定・除草）
- 10月 環境整備（剪定・除草・防草シート張り）
- 11月 環境整備（剪定・除草）
- 12月 環境整備（剪定・除草）
- 1月 環境整備（除草・防草シート張り）
- 3月 花壇の花植え、資材置き場の整理、反省

3 活動の実際

（1）コーディネーターについて（登録1名）

学校応援団コーディネーターは1名で「桶川西中サポーターズ」会長が担当している。基本的にPTA役員の中で推薦された方が務められている。

学校側担当者と連絡・協議しながら、年間計画の作成、会員名簿の管理、会員との連絡調整等を行っている。

（2）学校応援団について（登録35名）

登録は、保護者が中心である。募集は、年度末に生徒を通して全家庭に「学校応援団募集」のお知らせプリントを配付し、目的に賛同してくださる保護者を募り、登録を行っている。入会については随時募集している。また、卒業生の保護者からも学校を支える地域住民として登録がある。地域の回覧で募集したり、学校運営協議会を活用したりして、広く地域の方にも参加していただけるようにしている。

会員の中には様々な知識・技能を持った方がいて、環境整備や安全指導を中心とした学校からの要請に丁寧に対応してくださっている。PTA除草活動では、中心となって活動の計画、運営等を行っていただいた。

(3) 学校応援団の具体的な活動について（年間活動日数 およそ8日）

① 環境整備（年間活動日数 8日）

校地内及び学校回りの除草作業や樹木の剪定、枯れ葉の除去、花壇の花植え、粗大ごみの解体など行っている。

② 安全指導（年間活動日数 他の活動日に合わせて随時）

防犯パトロールののぼり設置（のぼりは桶川市の協力を得て作成）を実施している。

③ 学校行事協力（年間活動日数 随時）

体育祭、校内音楽会等で保護者の誘導やパトロールなどを行っている。



※雨の中の除草作業
(1, 2 枚目)

※生徒、保護者、地域
の方の協力を得て取
り組んだ全員除草の
様子 (3~5 枚目)

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・除草作業や樹木の伐採により、校地内に明るさと清潔感がもたらされ、また校地周辺の通学路等の安全の確保、整備がなされたため、生徒が安全で気持ちのよい環境で学校生活を送ることができるようになった。
- ・協働作業を通して、教職員と保護者、地域住民と連携することにより、学校・保護者・地域の信頼関係が深まり、「地域とともにある学校」の推進が図られた。
- ・活動の様子を学校だよりやHP等によって広くお知らせすることで、保護者や生徒に学校応援団の活動を広く理解していただくことができた。

(2) 課題

- ・除草や伐採した草や枝の量が多いため、適切な処理方法を検討していく。
- ・活動予定日や内容を学校情報メールや学校運営協議会などで広報し、会員登録者以外でも参加しやすい環境を整え、多くの保護者や地域の方々に参加してもらうことで、登録者数の増加と活動の充実を図っていく。

令和6年度 桶川市立加納中学校学校応援団の活動

1 加納中学校学校応援団のねらい

学校、家庭、地域が一体となり、また学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員が子供と向き合う時間の増加、地域住民や保護者と連携や活動の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図る。

2 活動の計画

4月 学校応援団の募集(保護者・地域の方対象)

4月 加納中学校学校応援団コーディネーターの委嘱

5月 学校応援団コーディネーターと活動内容や活動日等の打合せ

5月 除草作業、剪定作業

8月 除草作業、選定作業

10月 除草作業、剪定作業、花壇への植栽作業

2月 除草作業、選定作業、花壇への植栽作業、ペンキ塗装作業

2月 1年間の活動のまとめ(意見交換会)

3 活動の実際

(1) コーディネーターについて(登録 1名)

コーディネーターは、PTA推薦のもと、本校卒業生の保護者に依頼した。

活動内容は、以下のとおりである。

- ・学校から依頼を受け、学校応援団に支援を依頼すること
- ・地域の情報を学校に提供すること
- ・学校の情報を地域に周知すること
- ・学校応援団の会議を開催すること

(2) 学校応援団について(登録 32名)

令和6年度の学校応援団に登録している人数は、地域の方やPTA執行部等から32名である。それに加えて、保護者も参加してくれている。また、教職員や各部活動の生徒の出席も積極的に行われている。

募集方法については、保護者には、年度当初文書にて生徒を通じて案内し、登録を呼びかけた。地域の方々には、例年、以前から活動されている方に依頼し、ご家族、ご友人等を紹介していただいている。

活動回数は、例年、年間4回を計画している。学校応援団や教職員の他に当日参加の保護者の方々やボランティアで集まった生徒、部活動単位で参加する生徒も一緒に活動する。次回2月の活動は今年度最後の活動となる。応援団の方々や教職員そして在校生と共に、卒業式の準備として、また1年間の終わりと新年度を迎えるため、除草作業、伐採作業のほか、正門周辺のペンキ塗装作業や体育館花壇への植栽作業など、環境整備として実施する予定である。

(3) 学校応援団の具体的な活動について(年間活動日数 4日)

① 第1回 5月18日(土)

第1回目のボランティアでは、校庭の除草を中心に、登録して下さった地域の方や保護者が集まり、除草作業を行った。部活動単位での参加もあった。

② 第2回 8月24日(土)

第2回目のボランティア活動では、校庭の除草、樹木の剪定を中心に行った。今年は、暑い日が多く、草木も生い茂り、雑草も昨年よりも多く繁茂していた。多くの応援団の方々や生徒が参加し、除草・剪定作業に力を入れてくださり、校内美化が進んだ。



③ 第3回 10月19日(土)

第3回のボランティア活動では、長い残暑で多く繁茂した雑草の除草、樹木の剪定のほか、正門付近の花植えも行った。10月は、来校者が多い月であったが、応援団に植えていただいた花壇の花が鮮やかに来校者をもてなしてくれた。



④ 第4回 2月22日(土)

第4回のボランティア活動では、校庭の除草、樹木の剪定のほか、正門のペンキ塗装と花植えを計画している。卒業式、そして新学期を迎えるにあたって、校内の環境整備作業をすすめる。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・保護者、地域の方々、教職員、生徒との協働と交流の場が深まり、本校教育活動への協力や理解も進んでいる。
- ・教育環境の整備と充実が図られ、生徒の環境美化への意識も高まっている。

(2) 課題

- ・除草しなければならない範囲があまりにも多い。